

令和元・2年度 西部教育事務所 新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業 指定校
令和元・2年度 安中市教育委員会指定 学力向上推進中心校

令和2年度 研究報告

「学びのつながいを活かした、主体的に学び考えを広げ深めることのできる生徒の育成」

～表現力を養う一中スタンダードIIの実践～



令和2年11月2日（月）

安中市立第一中学校

I 研究の概要

1 研究主題

「学びのつながりを活かした、主体的に学び考えを広げ深めることのできる生徒の育成」
～表現力を養う一中スタンダードⅡの実践～

2 主題設定の理由

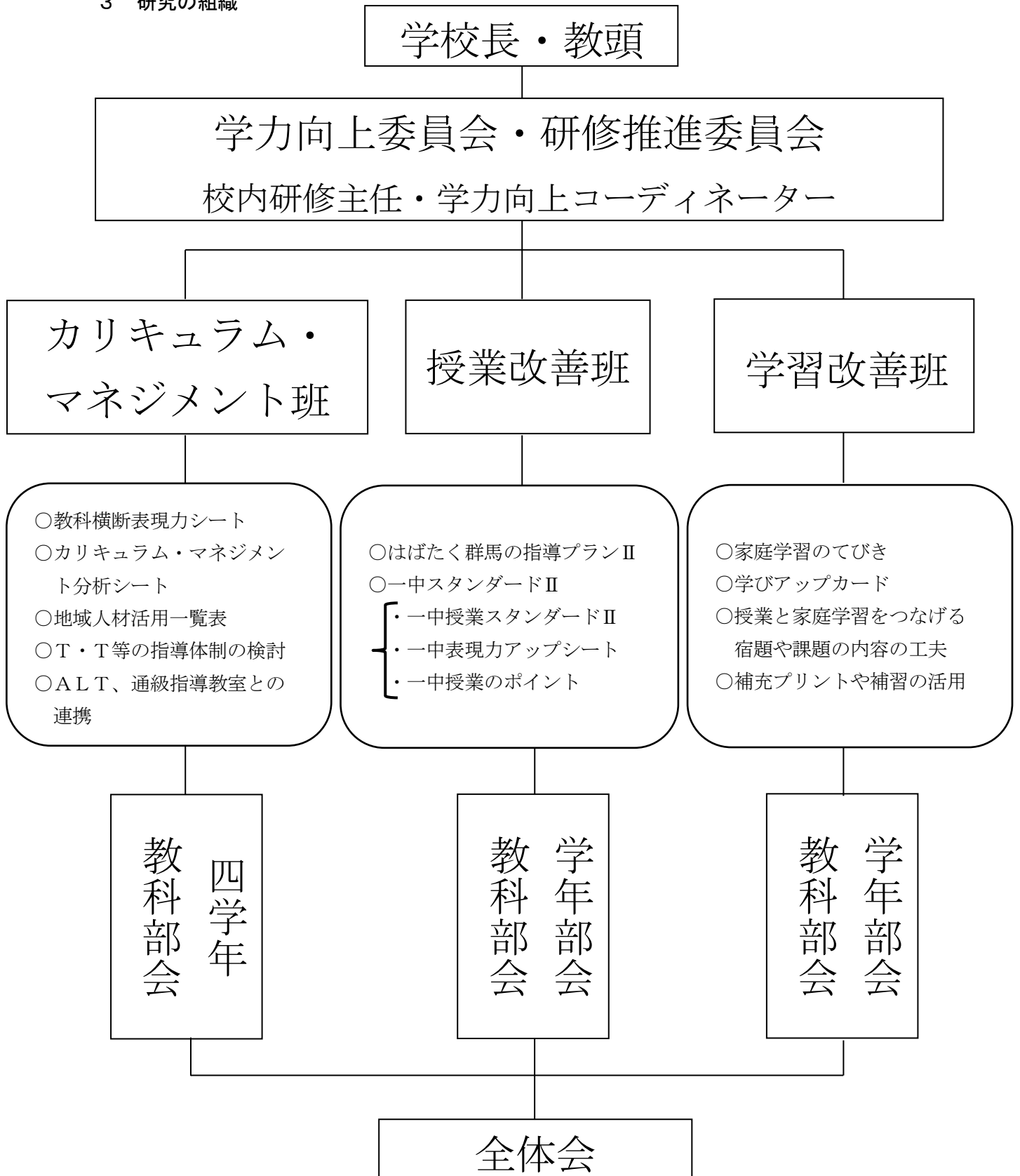
本校では、昨年度に西部教育事務所の『新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業』と安中市教育委員会の『学力向上推進中心校』の指定を受け「カリキュラム・マネジメント」と「はばたく群馬の指導プランⅡによる授業改善」を中心に据えた研修を進めてきた。

カリキュラム・マネジメントでは、昨年度目指すべき生徒像に向けたカリキュラム・マネジメント分析シートを作成しPDC Aサイクルの確立に努めた。その結果、各分掌などで短期的評価・改善が見られるようになったが、カリキュラム・マネジメントの残りの二つの側面である教科等横断的な視点による取組や人的又は物的な体制を確保する取組は不十分であった。

はばたく群馬の指導プランⅡによる授業改善では、昨年度、はばたく群馬の指導プランⅡを基に単元や単位時間を構想し、一中スタンダードを基にめあて・まとめ・振り返りを充実させるよう授業改善に努めた。その結果、教師はそれぞれの教科で単位時間だけでなく単元全体を意識するようになり、授業の縦のつながりが見られるようになった。また、めあて・まとめ・振り返りの流れが充実し、主体的・対話的で深い学びの場面が多く取り入れられるようになったが、生徒主体の取組をする時間の確保とめあて・まとめ・振り返りの引き出し方などが課題となった。加えて、学力アンケートやC R Tなどの調査から、本校の生徒は育成を目指す資質・能力のうちの1つである「思考力・判断力・表現力」のうち「表現力」に課題があることが見えてきた。

各指定の二年目となる今年度は、「カリキュラム・マネジメント」と「はばたく群馬の指導プランⅡ」の活用を充実させるために、既習事項や他教科との関わりや話合いの仕方など様々な要素の学びのつながりを重視した学習指導を行うことを目指し「学びのつながりを活かした、主体的に学び考えを広げ深めることのできる生徒の育成」を主題にして研修を進めることとした。まず、本校の課題である表現力の育成を目指し、教員が教科等横断的な視点を持って指導に当たることができるような指導体制を充実させることとした。次に、校区内の小学校や家庭とも連携し、どの教科でも共通した意見交流・めあて・まとめ・振り返りの流れや表現力の向上を目指す一中スタンダードⅡを確立・実践することとした。さらに、授業と家庭学習を有効に活用して表現力の育成に努めるために、授業と家庭学習をつなげる取組を検討し、宿題や課題の出し方や、家庭学習の効果的な方法や家庭学習の見取り方などを検討することとした。これらの取組を通して、生徒の表現力の向上を目指し、研修主題の「学びのつながりを活かした、主体的に学び考えを広げ深めることのできる生徒の育成」に迫れるようにしたいと考えた。

3 研究の組織



学校教育目標

「**学びを活かし、未来を拓く**」

- 学んだ事を活かし、創造しようとする生徒
- 他者を尊重し、勇気をもって行動する生徒
- 明るく健康で、困難な事にも挑戦する生徒

カリキュラム・マネジメント

カリキュラム・マネジメントの工夫

- 3つの側面の理解・教育活動の改善
【教育活動の改善】
 - ・教科横断表現力シート
→目標の達成に必要な教育内容を組織的に配列。他教科の特徴や習熟状況に応じた指導の工夫。
 - ・分析シート
→教育内容の質の向上に向けて各種調査を活用した短期的P D C Aサイクルの確立。
 - ・地域人材活用一覧表
→人的又は物的な体制を確保する取組。社会に開かれた教育課程の観点から学校内外の資源を活用。

教育課程の工夫

- 校内の指導体制の工夫・活用
 - ・T・T等の指導体制
→数学は全学年でT・Tを行う。支援員などによる個別指導。
 - ・A L Tと連携した英語指導
→2人のA L Tとの密な連携。
 - ・通級指導教室との連携
→合理的配慮による支援。

学力向上

指導力向上の工夫

- はばたく群馬の指導プランⅡを基にした授業改善
【一中スタンダードⅡ】
 - ・一中授業スタンダードⅡ
→はばたく群馬の指導プランⅡを基にした、授業の仕方の型。目指す生徒像に向けて同じ目線で指導する。
 - ・一中表現力アップシート
→表現力の定義や目指す生徒像の共有。教科等横断的に指導する。
 - ・一中授業のポイント
→授業スタンダードⅡを基にした意見交流の仕方などの生徒の授業の受け方のポイント。

学習改善の工夫

- 授業と家庭学習のつながりの工夫
 - ・授業と家庭学習をつなげる宿題や課題
→宿題や課題が次の授業内容や意見交流につながる取組。
 - ・学びアップカード、家庭学習のてびき
→授業内容や自分の課題意識から、自分で学習の計画を立て、実践・評価する。
 - ・補充プリントや補習
→学力定着のための支援。

校内研修

「**学びのつながりを活かした、主体的に学び考えを広げ深めることのできる生徒の育成**」

～表現力を養う一中スタンダードⅡの実践～

カリキュラム・マネジメント班

【学校教育目標】
【目指す生徒像】

- 教科等横断的な取組の検討。
- カリキュラム・マネジメント分析シートによるP D C Aサイクルの取組の検討。
- 人的又は物的な体制を確保する取組の検討。

授業改善班

【はばたく群馬の指導プランⅡ】
【一中スタンダードⅡ】

- 単位時間だけでなく単元構想を大切に授業づくり。
- 【一中スタンダードⅡ】
- 一中授業スタンダードⅡ。
- 一中表現力アップシート。
- 一中授業のポイント。

学習改善班

【授業と家庭学習のつながり】

- 家庭学習のてびきの活用。
- 学びアップカードの活用。
- 授業と家庭学習をつなげる宿題や課題の工夫。
- 習熟や基礎定着や知識理解の向上に向けた補充プリントや補習の活用。

学びのつながり

5 研究の計画

4月1日(水)	4月6日(月)
運営員委員会	教科部会(専門教科)・教科外部会(総合など)
校内研修主題、方向性の確認など	組織作り、教科の重点の検討など
6月8日(月)	7月27日(月)
全体会①・拡大教科部会(発表教科に他教科も加わる)	拡大教科部会
授業の仕方、研修内容の確認、拡大教科部会での授業検討など	指導案検討、模擬授業など
8月18日(火)	9月23日(水)
全体会②・拡大教科部会	全体会③・拡大教科部会
模擬授業、公開授業打合せ①	模擬授業、授業検討会②
10月12日(月)	10月19日(月)
全体会④・拡大教科部会	全体会⑤・拡大教科部会
模擬授業、授業検討会③	模擬授業、授業検討会④
11月2日(月)	1月18日(月)
指定校発表	全体会⑥
本番	研修の振り返り
2月	3月26日(金)
推進委員会・運営委員会	職員会議
次年度の研修の方向性の検討・確認	次年度の方向性の提案

【追加】1月25日(月) 新学習指導要領の評価に関わる研修

* その他

- ・月曜4校時に必要に応じて推進委員会を実施。
- ・指定校発表の授業に向けて、必要に応じて臨時拡大教科部会の実施。

